

授業科目	* 英語学概論 I				単位	2		
履 修	必修	関連資格	中一種免(英語) 高一種免(英語)		ナンバリング	EN21205J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP3-1 DP5-1			
担当教員	大谷 浩							
授業概要	<p>この授業は、英語学「入門」と理解して欲しい。「概論」とは、その学問全体を大まかにとらえる、という意味で、「英語学」を大まかに理解する内容である。</p> <p>「英語学」の内容は、実際には「言語学」とかなり重なる。強いて言えば「英語学」には、英語の歴史や、世界の各地のいろいろな英語や、英語教育のあり方なども含まれる点が特徴的である。前期の「概論 I」では、英語の歴史と、英語が持つ言語学的特徴(音声学、音韻論、形態論、統語論など)について学ぶ。</p> <p>言語学を学ぶには、その言葉について母語話者レベルの力が必要とされることも多い。</p> <p>そのため「入門」レベルとは言え、学生にとってそれまで全く知らなかった、意識もしていなかった事柄について扱うことが多く、難しいと感じられることも多い。しかし、英語学科生には「英語学」の基礎知識は欠かせない。英語教員や日本語教員志望者はもちろん、英語を「専攻」と称するならば、言語に対するしっかりとした理解は不可欠である。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>英語の歴史についての基礎知識を身につけている。</p> <p>音声学と音韻論の違いが説明できる。</p> <p>形態論と統語論についての基礎知識を身につけている。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	20	50	0	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)		20	20		15		55	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			20		15		35	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			10				10	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
言語学及び英語学で扱う学問領域を十分に把握し、その中で自分が特に興味を持つ研究分野を見つけ、その分野に対して更に研鑽を積む意欲を持つに至るレベル。				英語について言語学的好奇心を高め、英語学習への意欲を向上させる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	言語学、英語学とは。 英語学とは英語の語学訓練とは全く異なり、英語の言語学的特徴について理解を深める言語学の一分野であることを理解する。	授業方針の説明、 講義	指定された教科書を購入して 持参すること。	
2	英語の歴史 ユトランド半島から大ブリテン島へ移住したアングロ人・サクソン人・ジュート人の歴史について。	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
3	英語の歴史 ノルマンコンクエスト、聖書の英語訳、大航海時代、2つの世界大戦などを通じ、現在の地位を占める至る歴史を概観。	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
4	日本における英学と英語教育の歴史 英学が始まったきっかけ、明治／大正／昭和／平成の英語教育	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
5	音声学・音韻論 人間が声を発生するしくみ(肺、声門、口腔、鼻腔、舌、唇の動きや形)。	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
6	音声学・音韻論 英語の音韻について。	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
7	形態論 意味を持つ最小単位である形態素の特徴について。	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
8	形態論 様々な単語の生成パターンについて。	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
9	形態論 一つ一つの単語が持つ属性について。(品詞、弁別要素他)	小テスト、講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
10	統語論 単語と単語の結びつきのルール。	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
11	統語論 単語・句・節	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
12	統語論 文の解析と樹形図。	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
13	統語論 倒置(疑問文、強調他)	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
14	統語論について 日本語との比較(head-initial / head-final)	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
15	総括 英語学、言語学とは何か、音声学・音韻論・形態論・統語論の総復習。 授業アンケート	議論	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>中学・高校までに習った、特に文法についてのしっかりとした理解。 英語や日本語はもちろん、言葉というものに興味関心を持つ姿勢。 抽象的課題に対する興味・理解力。</p>			
テキスト	<p>はじめての英語学 研究社 ISBN 978-4-327-40165-8</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>以下、図書館で指定図書として閲覧・貸出可能： ○本当にわかる言語学：フシギなくらい見えてくる！ ○言語学入門：これから始める人のための入門書 ○明解言語学辞典 ○言語学が好きになる本 ○First steps in English linguistics 2 版 役に立つサイト： 英語学で学べること {<a href="http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/arts/course/en-language/2009/10/52033.html">http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/arts/course/en-language/2009/10/52033.html</a>}</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>英語学「概論」は英語学「入門」と置き換えてよい。 「英語演習」や「英語ディスカッション」を、「演習」「ディスカッション」と省略して言うのは構わないが、その感覚で「学概論」と略するのは止めて欲しい。「英語学」の初歩的勉強をする授業であり、短く言いたければ「概論I」である。 英語、日本語を問わず、言葉に関心を持って欲しい。 (自分や他人の言葉遣い、新聞やテレビ、SNSでの言葉遣いや、それによって自分が受ける印象など)</p>			
達成度評価に関するコメント	<p>遅刻2回で欠席1回とする。 20分以上の遅刻は欠席扱いとする。遅刻・欠席は評価に影響する。 英語学科の学生である以上、英語学の基礎はしっかり身につけて欲しい。授業で紹介された具体例を暗記するだけではなく、自分自身で類例を見いだしリアクションペーパーやレポートに書くことで評価は上がる。</p>			

